

電流センサ

電力見える化システム用クランプ型交流電流センサ

- クランプ型構造により、既存の電力設備への取り付けが容易

2014 年 4 月 17 日

TDK 株式会社（社長：上釜 健宏）は、電力の見える化システム用にクランプ型交流電流センサ CCT シリーズを開発し、2014 年 4 月より量産を開始したことを発表します。

近年、地球温暖化やエネルギー資源の枯渇といった地球環境問題を背景に、住宅からマンション、オフィスビル、工場、店舗等、あらゆる施設の 創エネ、蓄エネ、省エネを推進する動きが活発化しております。エネルギーを効率良く管理するためには、電力（電流）の把握が不可欠であり、電流センサの需要はますます高まっております。

電流のセンシング方式は、ホール式、磁気抵抗式、フラックスゲート、シャント抵抗等の基板実装を前提とした方法が挙げられます。CCT シリーズは、上記の方式とは異なるクランプ型交流電流センサ方式を採用し、既存の電力設備に対して容易に取り付けが可能です。用途に応じて、適用電流として 30A 品、100A 品の 2 種類をラインアップしています。

当社の EMC 対策部品のクランプ型 ZCAT シリーズで培った独自の構造設計及び工法を取り入れ、高品質で安定供給を実現します。

主な用途

- 家庭用分電盤、HEMS 用分電盤、BEMS/SEMS 用分電盤

主な特長と利点

- クランプ型でワンタッチの取り付けが可能
- 開放保護素子を内蔵しており、開放時の高電圧を抑制
- 巻線、はんだ等工法の自動化により、高品質・安定供給が可能

主な特性

製品名	AC 適用電流 [Arms] 50/60Hz	出力電流 [mA] 50/60Hz	2 次巻線抵抗 [Ω]
CCT261631-30-06	30	10	492
CCT323047-100-16	100	33.3	285

生産・販売計画

- ・ サンプル価格 : CCT261631-30-06 900 円／個
CCT323047-100-16 1,500 円／個
- ・ 生産拠点 : 中国
- ・ 生産予定 : 10,000 個／月（当初）
- ・ 生産開始 : 2014 年 4 月

TDK 株式会社について

TDK 株式会社（本社：東京）は、各種エレクトロニクス機器において幅広く使われている電子材料の「フェライト」を事業化する目的で 1935 年に設立されました。

主な製品としては、各種受動部品※（製品ブランドとしては TDK、EPCOS）をはじめ、電源、HDD ヘッドやマグネットなどの磁気応用製品、そしてエナジーデバイスやフラッシュメモリ応用デバイス等があります。アジア、ヨーロッパ、北米、南米に設計、製造、販売のネットワークを有し、現在、情報通信機器、コンシューマー製品、自動車、産業電子機器の分野において、電子部品のリーディングカンパニーを目指しビジネスを展開しています。

2013 年 3 月期の売上は約 8,500 億円で、従業員総数は全世界で約 80,000 人です。

※主な製品は、コンデンサ（積層セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ）、インダクタ、フェライトコア、高周波部品、センサ、ピエゾおよび保護部品等です。

本文および関連する画像は http://www.tdk.co.jp/news_center/press/20140417823.htm からダウンロードできます。

製品の詳細情報は http://www.tdk.co.jp/tjfx01/sensor_current_cct_ja.pdf で参照できます。

報道関係者の問い合わせ先

担当者	所属	電話番号	Email Address
中西	TDK 株式会社 広報グループ	+81 3 6852-7102	pr@jp.tdk.com